2021年度決算のご説明

(2021年4月1日~2022年3月31日)

需要好調を背景に業績回復、22年度も業績拡大見込み 中期目標を25年度過去最高業績に改定

> 2022年5月11日 本多通信工業株式会社 代表取締役社長 樫尾 欣司

> > Value by Connecting

2

21年度 実績

1.通期業績

- 売上高は全分野が回復または伸長し、対前年24%の増収
- 営業利益は部材/物流コストが上昇も、増販・合理化で大幅改善
- 経常利益・純利益は補助金・円安の影響もあり増益幅を拡大
- 配当は予定通り12円を実施

単位:百万円、()内 利益率

為替(\$/円) 期中/期末	20年度 106円/111円	21年度 112円/122円	前年比	通期 予想比	(
売 上 高	14,857	18,451	124%	103%	
営業利益	▲74 (▲ 0.5%)	875 (4.7%)	_	103%	
経常利益	147	1,043	706%	123%	
純 利 益	75 (0.5%)	693 (3.8%)	914%	107%	
配当	7円	12円			

通期予想 (1/31修正公表) 111円/110円
18,000
850 (4.7%)
850 (4.7%)
650 (3.6%)
12円

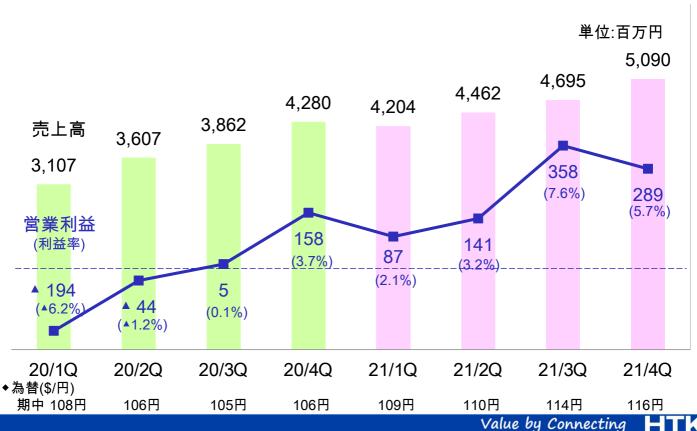
※「収益認識に関する会計基準」の適用に伴い、過去の決算数値を遡及修正しています

Value by Connecting

4

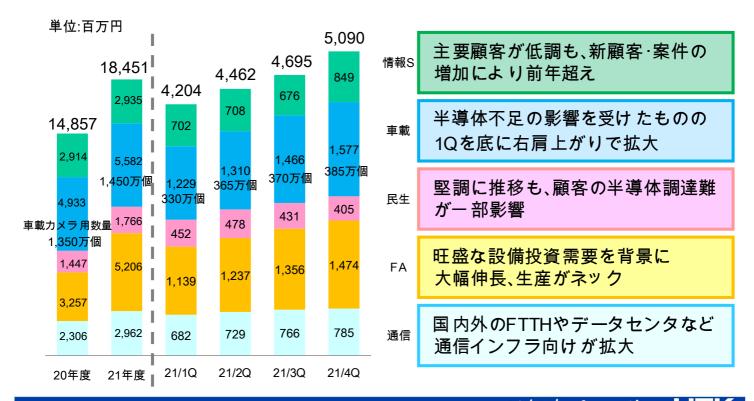
2.四半期業績推移

20/1Qから 回復·拡大傾向 が継続



3.分野別販売状況

FA:通信分野を中心に全分野が伸長



Value by Connecting

4. 21年度 営業利益分析(20年度比較)

調達コストの上昇や人的投資等の積極化が利益を押し下げるも 増販・合理化・価格改定で黒字化、相応の利益を確保

> 単位:百万円 ()内 利益率 調達コスト増 ▲280 為替 固定費増 (人件費等) 取引レート 增販益 合理化 **▲**250 +30 +1,300価格改定 部材価格上昇: ▲200 +150 物流費上昇 : ▲80 875 (4.7%)

20年度 ◆為替(\$/円) 期中 106円

▲74 (**4**0.5%)

949百万円 增益

21年度

112円

1. 22年度 業績予想

22年度 業績予想

- 売上高は全分野の需要の好調継続と 高水準の受注残もあり伸長
- 営業利益は開発投資·人的投資の増加や調達価格上昇などのコスト増を合理化/価格改定で吸収し、利益率を7.0%に向上
- 配当予想は、業績動向や財務状況等を勘案し17円(配当性向39%)

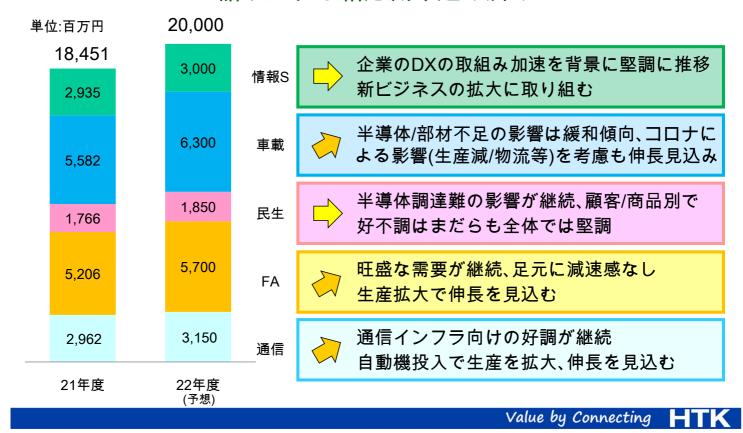
単位:百万円、()内利益率

為替(\$/円)			21年度	
	期中/期末		112円/122円	
売	上	高	18,451	
営	業利	益	875 (4.7%)	
経	常利	益	1,043 (5.7%)	
純	利	益	693 (3.8%)	
配		当	12円	

1 12:11/21/27 ()1 3/13/22				
22年度 通期計画 116円/122円	前年比			
20,000	108%			
1,400 (7.0%)	160%			
1,400 (7.0%)	134%			
1,000 (5.0%)	144%			
17円	+ 5円			

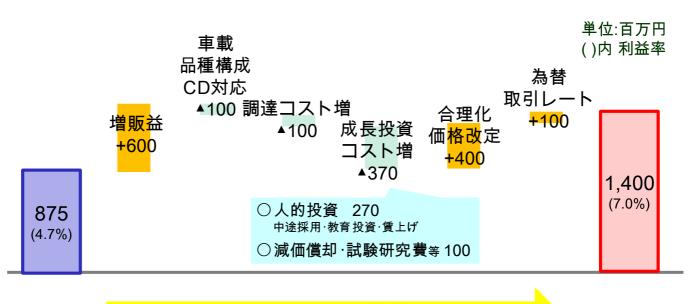
2. 22年度 分野別見通し

需要の好調継続と高水準の受注残により全分野伸長を見込む 諸リスクは相応織り込み済み



3. 22年度 営業利益分析(21年度比較)

成長投資および調達価格上昇によるコスト増を 増販·合理化·価格改定で吸収し増益



21年度

525百万円 增益

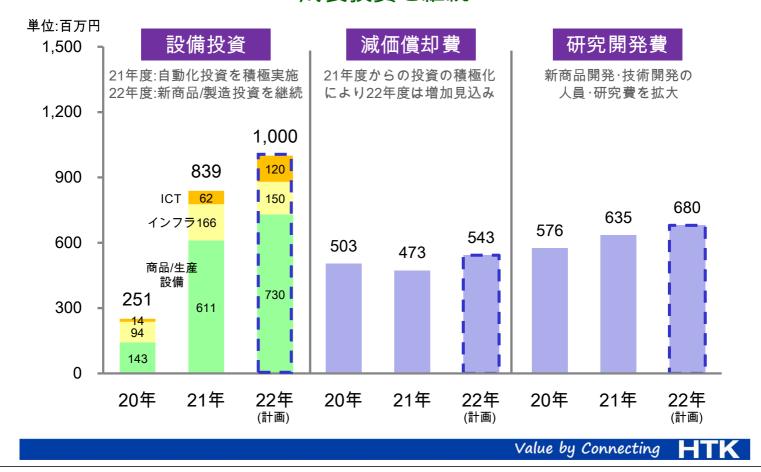
22年度

◆為替(\$/円) 期中 112円

116円

4.投資等の実績・計画

成長投資を継続



12

経営計画

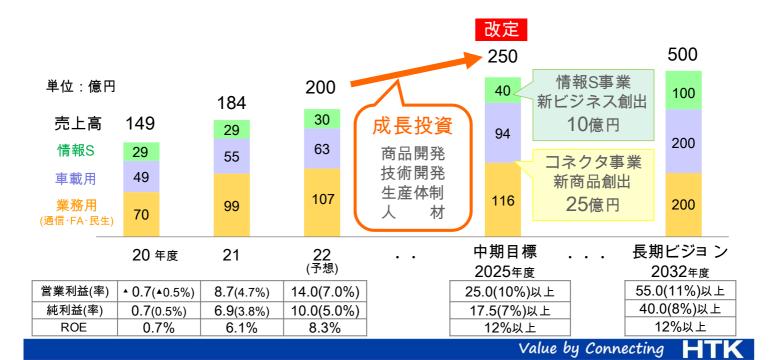
1.経営計画

■ 基本戦略

Society5.0で拡大する"つなぐ"市場に、新商品をスピーディに創出

□ 中期目標 : 25年度での過去最高売上/営業利益の更新を狙う

:成長投資を積極化し、新商品/ビジネスの創出を加速 □ 22年度



2-1.業務用コネクタ

拡がり多様化するニーズに新商品を連打

市場拡大 ニーズの多様化 &

製造設備/通信インフラ投資拡大 あらゆる機器がIoTで繋がる 市場予測20年→25年 ロボット:1.8倍、半導体製造装置:1.5倍、光通信·NW機器:1.4倍

実 績

- ○新商品開発
 - ・ロボット向けコネクタ
 - ・主力商品の品揃え拡充 (電流アップ・ネジレスなど)
 - ·IOWN GFに参画
- ○デジタル活用
 - ·商品サイトリニューアル
 - ・オンライン展示会の開催

取組み

- ○新商品開発の加速
 - ·注力市場※適合商品の投入 ※通信インフラ、ロボット、 産機/半導体製造装置
 - ・ 光接続技術の強化
- ○広域営業の強化
 - ・北米/中国市場の開拓
 - ・デジタルマーケの強化

中期目標

- ○新商品創出 < 10億円 >
- ○新技術の確立 光・大電流商品の開発
- ○新市場/顧客開拓 < 15億円 >

収益力改善

自動化投資、生産工程改善、価格改定、物流/梱包の見直し

新製造拠点の 立上げ

21年度

22年度 107億円

25年度 116億円

Value by Connecting

99億円

2-2.車載用コネクタ

車載カメラ用の実績と高速伝送技術をベースに事業拡大

CASEに向けてエレクトロニクス化が進展

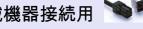
車載コネクタ市場 予測:20年→25年:1.5倍 車載カメラ市場 20年→25年:2倍

実 績

○車載カメラ用

- ·ビューイング... 新案件納入
- ・センシング … 自動生産化

○車載機器接続用



- ·高速伝送(6G/12G)用の開発
- ・主力品の品揃え拡充

取組み

既存強化+ 新顧客/領域を開拓

- ・新顧客/車種向けを開拓
- ・次世代/普及品開発

相乗効果

- ラインナップ拡充
- 車載機器以外への提案

中期目標

一本足を脱却し、成長を加速

21年 50億円 → 25年 70億円

新商品創出 < 15億円 >

21年 5億円 → 25年 24億円

ベトナム移管 ~ 安定生産

自動化・合理化投資の 拡大~刈り取り

Next拠点 立上げ

21年度 55億円

22年度 63億円

25年度 94億円

Value by Connecting

16

トピックス 新商品開発

新商品開発を加速、市場に投入

小型高速伝送(6Gbps/12Gbps)対応 LVDSコネクタ



<特長/用途>

- ・車載用LVDSコネクタとして 業界最速水準の伝送速度
- ・車載機器接続、車内LAN等
- ⇒ 具体的な商談がスタート

車載用 小型高速伝送コネクタの 商品ラインナップ拡充



<特長/用途>

- ~3Gbpsの様々な信号の 伝送が可能
- ・ 車載機器・スパコン等で採用
- ⇒ SMT(表面実装)タイプの追加等

高まる車載の高速伝送ニーズに 先端技術と幅広い選択肢を提供

ロボット向け小型中継用コネクタ



<特長/用途>

- 高い配線作業性を誇る 業界最小サイズのコネクタ
- 産業用/多関節ロボット等
- ⇒成長市場へ課題解決商品を投入

0.8mmピッチI/Oコネクタ 電流容量アップタイプ

<特長/用途>



- ・主力商品の電流容量をアップ
- 制御機器/小型ディスプレイ等 電源+ 制御信号が必要な装置
- ⇒ 機器の小型/省スペース化に貢献

拡大・多様化するニーズに 課題解決商品を提供

2-3.情報システム

新技術の活用で独自のDXビジネスを展開し、事業領域を拡大

デジタルの社会実装が加速

IoTビジネス市場 予測:20年→25年:1.5倍 クラウドサービス市場 20年→25年:2倍

実 績

- ○既存ビジネス
 - ・新顧客との取引開始
 - ・高付加価値案件の拡大
- ○新ビジネス
 - ・開発部/営業部の立上げ
 - ・新技術での提案活動
 - ※自社ビジネスとして案件獲得

取組み

- ·新技術の深化
- ・サービスレベル深化
- ·新ビジネス拡大 製造業DX·車載·メタバース等
- ·Apliサービス拡大

中期目標

- ○既存ビジネス強化
 - < 30億円 >
 - ⇒ 高付加価値化
- ○新ビジネス創出
 - < 10億円 >
 - ⇒ 高収益事業の拡大

新技術の獲得(Al·RPA·ブロックチェーン等) 人材開発(働き方改革·採用·教育)

DX商材の開発 (外観AI検査・遠隔地スコープ・動線トレース等)

21年度 29億円 22年度

25年度

30億円 40億円

Value by Connecting

18

3. サステナビリティへの取組み

「サステナブル社会の実現」と「企業価値の向上」の両立を目指す

サステナビリティ委員会

社外取締役をアドバイザに置く 社長直轄の委員会を設置 サステナビリティに関する方針策定や推進状況を監督

環境

温室効果ガス排出量の削減

2030年:2013年比38%削減 2050年:カーボンニュートラル

- ・省エネ設備/活動の導入・展開
- ・CO2フリー電力の導入拡大
- · 開示の充実 TCFD



廃棄物削減

・再生材の活用拡大、物流・梱包の見直し

人材

人材力強化

- ・キャリア採用の拡大
- ・研修投資・自己啓発支援を拡大

健康経営の推進

· 「健康経営優良法人2022」 の認定を取得(22年3月)



働きやすい環境の整備

・人事制度の整備、職場環境の改善

健全で強固なサプライチェーンの構築

取引の適正化·整流化に継続的に取り組み、パートナとWin-Winへ



IRに関するお問い合わせ先

本多通信工業株式会社 経営企画グループ

MAIL: ir@htk-jp.com

URL: https://www.htk-jp.com/

検索 HTK

Value by Connecting

20

参考.コネクタ事業 連結受注推移

単位:%

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
2021年度 前期比	+36	-14	-4	+1	+54
前年同期比	+140	+77	+27	+14	+54
1\$=	109円	110円	114円	116円	112円
2020年度 前期比	-10	+11	+34	+13	±12
前年同期比	-18	-8	+27	+50	+12
1\$=	108円	106円	105円	106円	106円

実勢為替レートで算出